ハンドマイク街頭演説原稿例　やさしく強い経済の実現を

二〇二三年一月七日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　岸田首相は新年４日の記者会見で、「この３０年間、企業収益が伸びても、期待されたほどに賃金は伸びず、想定されたトリクルダウンは起きなかった」と発言しました。まるで他人ごとのような言い方で、現在の総理大臣の発言とも思えません。

　歴代の自民・公明政権は、大企業がもうかれば経済がいい方向に回り、庶民にも利益がしたたり落ちるという考えから、大企業ばかり応援する政治をしてきました。安倍政権のアベノミクスや、弱肉強食の新自由主義も、この考え方です。岸田首相は安倍政権で重要閣僚や自民党役員としてアベノミクスを進め、首相になってからもこの政策を続けています。岸田首相には、現在の深刻な状況を生み出した責任があるのではないでしょうか。

　アベノミクスと新自由主義が、現在の深刻な状況を生み出しています。アベノミクスの「異次元の金融緩和」で異常円安がもたらされました。国際競争力を強めるという名目で進めた政策が企業の海外移転、国内生産の弱体化という日本経済の空洞化を進めました。労働法制の規制緩和で非正規雇用労働者を増やしたことで、企業が利益を増やしても働く人の給料は増えない社会にしてしまいました。世界的なインフレーションやロシアのウクライナ侵略という問題はありますが、日本社会はそもそも、歴代自民党政権の政策のもとで、経済がもろくて弱いものにされていたことが、危機をさらに深刻なものにしてしまったのではないでしょうか。

　みなさん、日本共産党は「物価高騰から暮らしと経済を立て直す緊急提案」を発表しています。直面する物価高騰から暮らしと営業を守る緊急の対策ですが、同時に今までの自公政権によってもたらされた日本経済のゆがみをただし、やさしく強い経済に切り替える改革の提案でもあります。その内容を、いくつかご紹介します。

　働く人が豊かになってこそ、経済も強くなります。大企業のため込み金、内部留保に期間限定で課税し、その仕組みと税収を使って大企業でも中小企業でも賃上げを実現します。

　さまざまな負担増が家計消費を冷やしてきましたから、その負担を軽くします。消費税は緊急に５％に減税します。年金を物価高騰にみあった金額に引き上げます。医療や介護の値下げ、学校給食の無償化などを進めます。

　中小企業や小規模事業者が倒産・廃業しないよう、支援に力を入れます。輸入に頼っているために円安の影響をもろに受けている、食料とエネルギーの自給率を引き上げます。

　国民の暮らしを支える政治の実現に全力で取り組む日本共産党に、ぜひみなさんのご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

　この機会に日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）